

平成 30 年 5 月 11 日

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 強度近視網膜分離症における fovea-sparing ILM peeling 法 (FSIP) と complete ILM peeling 法 (ILMP) の手術成績の比較研究

研究機関 市立札幌病院 (眼科)

研究責任者 眼科副医長／岩崎将典

研究の目的

強度近視の一部の方は網膜が分離する強度近視網膜分離症という病気が起きることがあります。それは徐々に進行し、視機能を障害します。その進行防止ため、内境界膜という網膜表層の膜を除去する手術治療を行います。術後に網膜の中心部分(中心窩)に穴が開く黄斑円孔を生じることがしばしば問題となっています。強度近視網膜分離症に対する網膜の内境界膜に対して中心窩部分を残す新しい術式(FSIP)と中心窩部分も剥離する従来の術式(ILMP)を比較して、その有効性を検討します。

研究の方法

1 対象となる患者さん

強度近視網膜分離症の患者さんで、2011年1月1日から2017年12月31日の間に硝子体手術を受けた方。

2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、手術日、観察期間、視力、眼圧、水晶体状態、屈折、眼軸帳、光干渉断層計所見、手術記録などを調査します。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院眼科